

授業科目名	世界を知る A	担当教員	今井 祐子
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 1 クォーター		
講義内容	19 世紀半ばにヨーロッパで始まった万国博覧会（万博）は、1970 年以降はアジアでも開かれるようになり、これまで世界各地の文化や社会に様々な形で影響を与えてきました。この授業では、万博のモデルとなったロンドンとパリで開かれた国内レベルの産業博覧会、1900 年までに欧米諸国で開かれた万博、20 世紀と 21 世紀に世界各地で開催された万博を取り上げ、その展示が私たちの暮らしや社会・文化に与えた影響を多角的に考察します。それらの理解を踏まえて最終回の授業では、これからの万博に期待したいことをグループに分かれて議論します。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・万国博覧会の成立とその背景について理解し、説明できる。 ・統計データや歴史的事実をもとに、19 世紀、20 世紀、21 世紀に開催された万国博覧会の傾向や特徴を理解し、その相違を説明できる。 ・万博への日本の参加や、日本で開催された万博について基礎的な知識を身につける。 ・万博を巡る国際的な課題について自分なりの見解を持ち、それを記述して説明する。 		
授業計画	第 1 回 国際博覧会条約と BIE（博覧会国際事務局） 第 2 回 万博前史：イギリスとフランスの産業博覧会 第 3 回 黎明期の万博①：1851 年ロンドン万博とそのレガシー 第 4 回 黎明期の万博②：パリ万博とサン＝シモン主義 第 5 回 1900 年までに開かれた万博①：日本の参加とジャポニスム 第 6 回 1900 年までに開かれた万博②：最新技術と植民地の展示 第 7 回 1900 年までに開かれた万博③：アトラクションとツーリズム 第 8 回 1901 年から第二次世界大戦終結までに開かれた万博 第 9 回 第二次世界大戦後から現在までに開かれた万博 第 10 回 日本で開かれた万博①：1940 年の幻の万博と 1970 年大阪万博 第 11 回 日本で開かれた万博②：沖縄、つくば、大阪、愛知の万博 第 12 回 これからの万博／グループ・ディスカッション		
事前・事後学習	事前学習：授業資料に目を通し、分からない用語の意味を調べる（約 90 分）。事後学習：授業を振り返って復習したり疑問点等をまとめたりして、グループ・ディスカッションやレポートに備える（約 90 分）。		
テキスト	授業では教科書を使用せず、事前に各回の授業資料（PDF）を配布します。		
参考文献	山中俊之「世界の民族 超入門」（ダイヤモンド社） 山中俊之「世界の 5 大宗教入門」（ダイヤモンド社） 山中俊之「アートを知ると、世界が読める」（幻冬舎新書）		
成績評価の基準	レポート（50%）、授業のリアクション（30%）、ディスカッション（20%）		
履修上の注意 履修要件	特にありません。		

実践的教育	
備考欄	2021年～2024年度入学生：「世界を知る」